

DX・働き方改革の加速化に向けて

議題

1. リーディングプロジェクトの評価・推進
2. デジタルマーケティングの活用
3. 県庁における働き方改革の推進
4. 重点的に進める事項のワーキングチーム

1 リーディングプロジェクトの評価・推進①

ビジョン	リーディングプロジェクト名	R④当初予算額
1 県民本位の行政サービスの 実現	(1)スマート県庁推進プロジェクト	2.6億円
	(2)誰一人取り残さないデジタル社会推進プロジェクト	3.4億円
2 デジタルによる県内産業の 成長	(3)産業の高付加価値化・ニュービジネス創出プロジェクト	22.4億円
	(4)スマート農林水産業推進プロジェクト	4.7億円
3 デジタルによる持続可能な 地域やまちづくり	(5)DXによる関係人口創出・拡大プロジェクト	3.9億円
	(6)県民健康増進プロジェクト	2.3億円
	(7)学校教育情報化(教育DX)推進プロジェクト	5.1億円
	(8)DXによる安全・安心とやま推進プロジェクト	1.1億円
4 日本一のDX人材育成県	(9)未来をリードするDX人材育成プロジェクト	1.4億円
5 働き方改革でゆとりある 暮らしの実現	(10)県民総参加の働き方改革プロジェクト	2.6億円
	合計 143事業	49.4億円

1 リーディングプロジェクトの評価・推進②

リーディングプロジェクトの着実な推進

- リーディングプロジェクト毎に、関係部局が連携し、取組みを進める。
- **PDCAサイクルにより進捗状況を評価・検証し、次のアクション(事業や業務の改善等)に繋げる。**

➤ 評価の実施時期(年2回)

① 10月(上半期分)

反映

- ◆ 下半期事業の改善
- ◆ アクションプラン改定
- ◆ 翌年度当初予算

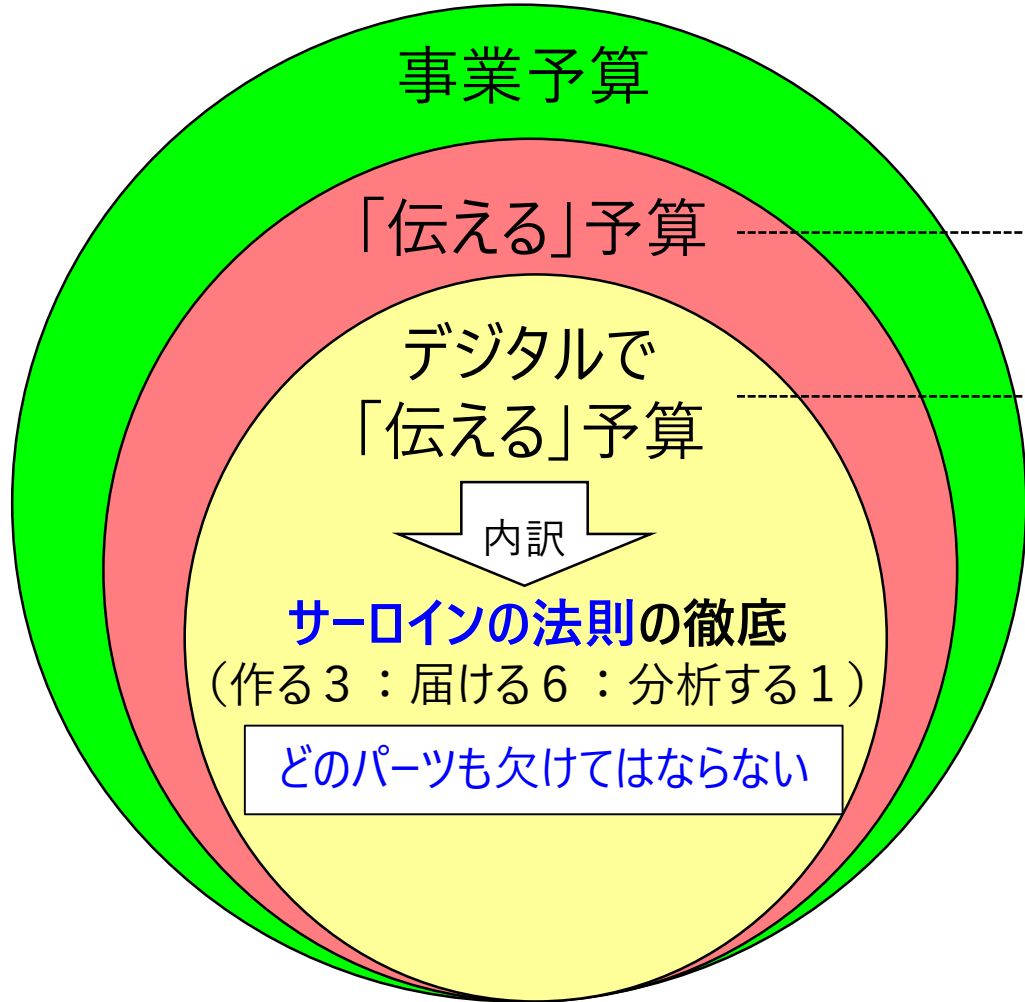
② 4月(下半期分)

反映

- ◆ 効果的・効率的な事業執行

2 デジタルマーケティングの活用①

実施マニュアルのポイント



県内外に向けて、施策や事業、現状などを問わず、
県が誰かに伝達する予算(a)
〈Web広告、動画広告、イベント開催、ポスター・チラシ等〉

インターネットを通じて伝える予算(b)
〈Web広告、動画広告等〉

$$\blacklozenge \text{デジタル比率} = b / a$$

情報発信の相手に合わせてデジタル比率を検討
〈例〉ターゲット：子育て世代 ⇒ デジタル比率80%

2 デジタルマーケティングの活用②

「デジタルマーケティング実施マニュアル」に基づき、各室課は次のとおり取り組みます。

- 実施マニュアルに基づき事業執行
- 「伝える」予算が100万円以上の事業は、
デジタルマーケティングを活用
⇒ デジタル戦略課に協議
- デジタルで伝える場合は、
サーロイン(3:6:1)の法則を徹底

伝わらないと意味がない。「いかに届けるか」を重視。

3 県庁における働き方改革の推進①

働き方改革の目指すもの

- より効果的な行政サービスの提供
- 職員のウェルビーイングの向上
 - このために各室課は、
 - ・今の仕事のやり方を見つめ直し、
 - ・デジタルツールの活用等による**業務の改善**や、
 - ・柔軟な働き方の活用、情報共有の円滑化等による**良好な職務環境づくり**に取り組む

3 県庁における働き方改革の推進②

各室課が具体的に取るべきこと

- チームの**現状**を話し合う。
ex:チームのビジョンが共有されていない、業務の属人化
- チームの「**ありたい姿**」を話し合う。
- 「**ありたい姿**」と現状とのギャップ＝**課題**を見つける。
⇒ **課題解決に向けたアクション**を話し合い、**実践**する。
実践する際には、各所属で取り組まれた働き方改革の実績(参考資料2)を活用して欲しい。

※具体的な手順等については、後日改めて通知

4 重点的に進める事項のワーキングチーム①

重点的に取り組む必要があるものについては、DX・働き方推進委員会の下に、**部局横断のワーキングチーム**を設置し、取組みを加速していきます。

◆設置するワーキングチーム(WT)

まずは次の3分野。今後、必要に応じて拡充

- ①県庁ペーパーレス化・情報セキュリティ推進WT
- ②県民向けアプリ等の連携推進WT
- ③DX人材育成WT

4 重点的に進める事項のワーキングチーム②

1 県庁ペーパーレス化・情報セキュリティ推進WT

中長期の目標	ペーパーレス化を通じて、仕事のやり方や業務フローを変革し、生産性を向上。職員が付加価値の高い業務に注力できるようにすることで、県民サービスの充実を図る。
今年度の取組み	仕事のやり方、デジタル技術の活用、ルール整備やマニュアル作成等の環境整備を一体的に検討。ペーパーレス会議など出来るものからスモールスタートで実行。
当面の関係部局	知事政策局・経営管理部・生活環境文化部・出納局
第1回WTの開催（予定）	<ul style="list-style-type: none">◆6月14日（火）◆内容<ul style="list-style-type: none">・情報管理基準の明確化と徹底（情報セキュリティと文書管理の両面から整理・明確化し、研修・監査等により徹底）・ペーパーレス化の課題と対応

4 重点的に進める事項のワーキングチーム③

2 県民向けアプリ等の連携推進WT

中長期の目標	<ul style="list-style-type: none">・顧客データの一元化により、①県民等の情報取得を容易にする、②観光・交通・農林水産業・健康・広報広聴等様々な分野でデータの相互利活用を行い、県民の利便性向上、産業振興等を図る。・関係人口1000万人の実現に向けた、データ収集・利活用（当面は、観光・交通分野での利活用）を進める。
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none">・観光・交通・農林水産業分野におけるデータ連携・利活用・顧客データ一元化に向けた調査・検討・実証など・戦略的広報広聴調査
当面の関係部局	知事政策局・地方創生局・交通政策局・農林水産部
第1回WTの開催（予定）	<ul style="list-style-type: none">◆6月中◆内容<ul style="list-style-type: none">・観光など各種分野のポイント制度等の電子化やMaaS環境の整備・人流データの政策立案・効果検証への活用

4 重点的に進める事項のワーキングチーム④

3 DX人材育成WT

中長期の目標	県内企業における様々な分野のデジタル化・DXに貢献・活躍する人材を輩出するため、本県として目指すべきDX人材像を共有するとともに、指導者など限られた資源を有効活用することにより、産業界や教育機関等が連携して人材育成を行う。
今年度の取組み	<ul style="list-style-type: none">・育成すべきDX人材像の確立・指導者の有効活用など、各部局が実施する事業の連携
当面の関係部局	知事政策局・経営管理部・商工労働部・教育委員会
第1回WTの開催（予定）	<ul style="list-style-type: none">◆6月中◆内容<ul style="list-style-type: none">・様々な場面で必要とされるDX人材像の検討・各部局が実施する事業の情報共有